

くまもと暮らしの達人

くまもとにほれ込み、くまもとに移住してきた方々をご紹介します。
新たなくまもとライフのヒントが満載です。



合同会社ちかけん
ちかけんファーム 代表

川渕 皓平さん〈23才〉



世界の阿蘇で暮らせる驚きと喜び

毎日見ても飽きない景色に感動の連続です

地元の人に支えられ、 こだわりの農業を実践

「近所のおじいちゃんおばあちゃんも、みんな本当にいい人ばかり。阿蘇独自の種のとき時などを教えてくれたり、ゴミを庭先に置いていたら、いつの間にか近所さんが捨ててくれていたりして。」と笑顔で鎌をふるう、ちかけんファーム代表の川渕皓平さん。大阪出身の川渕さんが阿蘇への移住を決めたのは平成20年5月。2年ほど前に参加していたピースポートの活動で「循環型の社会モデル作り」のために、農業ができる人を探している」と、声をかけられたのがきっかけでした。

「まずは手入れのできない竹山を整備し、間伐した竹で肥料を作り野菜を育てる。それを食べて元気になり、また山をきれいにするのがひとつの循環の形」と川渕さん。現在は4枚の段々畑で土作りをしながら、米やなす、白菜、高菜と季節の野菜を育てています。借りたのは減反政策で休耕地になっていた土地。借りた時に、土からは化学肥料が抜け、有機栽培に適した状態だったそう。「雑草の生え方で土の肥え具合がわかるし、雑草の根が土壌の水分を守ってくれる」と自然の姿にこだわります。

農業と竹あかりで 人と暮らしをつなぎたい

「育てた野菜は近所の皆さんにも持って行きます。食べてもらって感想やアドバイスをもらえるのが嬉しい」と川渕さん。作った野菜は地元を飛び出し、ちかけんがプロデュースする熊本市内の有機野菜レストラン「もったいない食堂(良町店)」にも提供しています。

そんな川渕さんたちの活動の場は、阿蘇近隣に留まらず、熊本全体へと広がりを見せます。川渕さんたちが手作りする竹あかりは、竹害対策で間伐した竹に穴を開けて図案を描き、その中にろうそくを点灯。その幻想的な美しさは工芸品としての評価も高く、地元の国造神社や阿蘇の火祭りにも奉納しています。また、熊本市内を流れる坪井川を5万個ものろうそくで彩る「熊本暮らし人祭りみずあかり」にも積極的に参加。「こんなにたくさんの方々がボランティアが集まるということに驚きました。地域柄なんですよね。竹あかりを通じて人と人、人と場所をつなぎ、イベントでまちを活性化して機能を取り戻す手助けになれば」と語ります。熊本県全体の活性化を担う、新しい原動力になりそうです。

傘屋 崇山
吉田 崇さん〈35才〉



地域に溶け込み 山鹿の文化を復興

一度は途切れた山鹿傘を復活継承



地域に支えられ、 二人三脚での傘づくり

幻想的な美しさで人々を魅了する山鹿灯籠。その和紙細工が盛んな地で、今、山鹿傘が密かに注目を集めています。作っているのは、福岡出身でかつては大分県日田市で木工をしていた吉田崇さん。山鹿は「川が近くを流れ、庭も広く緑が見えて、落ち着いた雰囲気できざわしくないのがいい」と、じっくりと腰を据えて傘作りに取り組む毎日です。

平成15年に山鹿市物産振興協会が山鹿傘の復興に着手し、一度は途絶えていた山鹿傘の後継者として選出され、全国各地で傘作りの技術習得に励んだ崇さん。現在では、山鹿の観光協会や物産協会に参加し、山鹿の文化復興に出来ることから少しずつ協力しています。

山鹿に来て結婚された吉田さんご夫婦は、現在子育ての真っ最中。「山鹿は本当に食べ物が美味しい。温泉も近くにたくさんあるし、身近に自然が豊富で、その中で子どもを思う存分遊ばせてあげられる。ご近所には年配の方も多いので、子どもも可愛がってもらえて、『作りすぎたから』っておすそ分けなどもよくいただきますよ」と妻の聡

子さん。「地域の行事には出るようにしています。みんな優しく困ったときには助けてくれる。そんな程よい距離感が心地よいです」と暮らしやすさを実感しています。

じっくりと技を極め、 伝統和傘の後継者へ

「全てが手作業だから、作るのも一カ月で10数本。今は余裕が無いけど、今までに無いようなデザインの傘も作りたい」と、古民家を改装したアトリエで、1本1本骨を組み、和紙を張り、昔ながらの方法で防水加工を施す崇さん。「傘は1本ずつ受注生産。柄や雰囲気などもお客様とお話しして決めます。遠方の方にも傘を見てもらうために、ホームページを作りました。掲載用の写真も、近くの旅館や酒蔵のご協力で、雰囲気のある写真が撮れました」と、地域に根ざす姿が伺えます。

「精神的に安定しないとできない仕事なので、集中できる環境を作れるよう気をつけています」と言う聡子さんも、傘の絵付けや傘を入れる布袋を作ったりと、傘作りをしつかりサポート。情緒あふれる山鹿の町で二人三脚。復活した山鹿傘を後世に伝えています。